



人権教育推進通信

発行：地域人権教育ネットワーク研究会（事務局：長野県教育委員会事務局中信教育事務所生涯学習課）

人権教育の歩みを進めるために

令和3年度、またしても新型コロナウイルスの感染状況に振り回されることになってしまいました。いったん感染が拡大してしまうと、予定していた事業の延期や中止をせざるを得ない状況となり、多くの担当者の皆さんも頭を抱え、肩を落とされたことと思います。1月以降、中信教育事務所生涯学習課に依頼されていた人権学習会・研修会の多くも中止の連絡をいただきました。

今、おそらくどの市町村でも、来年度の人権教育推進・人権啓発に関わる事業計画に頭を悩まされていることだと思います。いつ感染が再拡大して、延期や中止になるのか見通しが見つからないのが現状です。新たな人権に関する事業を興すことも、なかなか難しいのが実情のようです。そんな中ですが、私たちがこのコロナ禍で学んだことの1つは、「何ができるか、どうしたらできるかを考え、前に進む」ことの大切さなのではないでしょうか。

①市町村や公民館の事業に人権の視点を取り入れて

今年度の5月の第1回市町村社会人権教育担当者会（ネットワーク研究会①）では、「既存の市町村や公民館の事業にうまく人権の視点からのねらいを組み込んでみては？」と提案させていただきました。事業を開催できるときをチャンスとみて、それをうまく活用しない手はありません。

第2回担当者会の冊子「本年度の取組の見返し」の中に、こういった工夫した取組を、いくつもの市町村で見つけることができました。

自分に引き寄せて考える学習

既存の公民館事業など
ねらいの1つに人権の視点を
入れてみるのはどうでしょう？



〈第1回担当者会資料より〉

お年寄りや子どもたちとの関わりが生まれるような講座なら・・・

☆【高齢者の人権】【子どもの人権】など個別の人権課題に焦点を当てる

☆【お互いを気遣うかわり】や【「ありがとう」の言葉】、

【明るいあいさつ】など、あたたかなかわり合いに視点を当てる
なんてどうだろう！

自分に引き寄せて考える学習

例えば・・・

多世代の参加・交流が期待できる行事

- ①会の始まり：人権の視点を意識できるようにする
「お互いのよさを感じられるといいですね」
「協力し合ってあたたかなつながりが生まれるといいですね」
- ②会の途中：あたたかな関わりをとらえ、声かけをしたり、その場面を記録したりする。
- ③会の終わり：参加者どうし感想を伝え合う。アンケートに人権の視点を意識した項目を入れる。
- ④その後：広報誌や公民館報などを利用し、住民に啓発を図る。

どの事業にどんな人権の視点を組み込めようか、ここは地域に密着したそれぞれの担当者の工夫の見せ所です。ネットワーク研究会などの折には、担当者同士のつながりをつくと共に、「こんなふうに人権の視点を取り入れてみたよ！」という工夫を持ち寄って情報交換をすることで、推進のアイデアをふくらめていけるといいですね！



〈第1回担当者会資料より〉

②草の根の人権教育推進のために ～塩尻市の実践発表より～

第2回担当者会（ネットワーク研究会③）では、塩尻市の人権教育推進について、社会教育指導員の福山眞太郎さんにその取組をご紹介いただきました。その中で、「地区の人権教育推進の基礎力を高めるために、各地区の人権教育指導員さんたちに、もっと地域に出て活躍してもらいたい。地域の人権教育推進をリードしてほしい」という願いから開催された研修会のお話がありました。

はじめて地域で人権教育を推進する役割を担う方たちの中には、「これまでに知識も経験も、人前で話することもほとんど無かったので、どうしたらよいかわからない」という方もいます。それなら、“集まってくれた方々が気軽に楽しく学習でき、自信のない指導員も「これならやれそうだ」と思える

ことを目指して何かできないだろうか・・・。”そんな人権教育担当者の思いが出発点の研修会です。10月5日に行われたこの研修会は、コロナの感染が収まっている中で、主にアイスブレイキングとワークショップを中心に、実際に体験しながら人権教育の進め方について学び合う機会となりました。

知識もないし・・・
経験も無いし・・・
どうしたらいいの？



やってみよう!

他にもいろいろ
ご紹介できます!
(ジャンケン、カード、絵本 etc.)

アイスブレイキング

GOOD & NEW
(グッド アンド ニュー)

話す方も、聞く方もうれしくなりますよ!

グループ内で自己紹介をしましょう。

- ・ 24時間以内の、「うれしかったこと」「発見したこと」などを話します。
- ・ 一人30秒を目安に、お話しください。

漢字をつくろう!

活動 □□□・・・

- ・ □に、2画加えて、漢字を完成させてください。
- ・ まずは、一人で考えてみましょう!

その後、グループで考え合ってみましょう!

これなら簡単に
楽しくできる!



〈紹介した活動の例〉

このような、アイスブレイキングや簡単なワークショップなら人権学習会と名を打たなくても、地区のちょっとした集まりやほかの公民館事業と抱き合わせるなどして、短時間で気軽に行うことができます。難しい話や大変な準備も必要ありません。

市町村の社会人権教育の担当者の皆さんも、地域の人権教育を推進するリーダーとして取り組んでみるのはいかがでしょうか。思いのほか簡単に盛り上がり、あたたかな空気に包まれるのを感じることができますよ。

もちろん初めてで不安なときには中信教育事務所より担当の指導主事もお伺いし、一緒に進めたり、サポートさせていただいたりすることも可能です。喜んでお伺いします!ぜひお声がけください。

《お知らせ》

市町村で主催する「人権講演会」や「人権学習会」などの中信地区全体への周知について、今年度は松本市、塩尻市、木曾町の担当者さんよりご依頼をいただきました。広くネットワークを形成し、つながりづくりとよい研修の機会ともなりますので、今後も中信管内の市町村へ周知したい取組や研修会などがございましたら、ぜひお声がけください。

人権教育講師として出向きます!

謝礼・交通費
一切不要!

職場や公民館、PTAの人権教育研修など。

期日、時間、内容など、できる限りご要望にお応えします。

- ・ 身近な人権問題・職場の人権問題
- ・ 子どもの人権について・同和問題・部落史
- ・ ワークショップ・人間関係づくり etc.

電話でもFaxでもかまいません。
お気軽にお問い合わせください。

